



那覇市民の友

第699号 毎月1回発行
2009年(平成21年)
4月

市の人口と世帯	
※()内はうち外国人	
2009(平成21)年2月末現在	
総人口	316,773 (2,199)
男女	152,789 (1,146) 163,984 (1,053)
世帯数	132,963 (1,355)
住民基本台帳人口の内訳(外国人を除く)	
本庁	94,706
真和志	104,342
首里	58,051
小祿	57,475

発行●那覇市 編集●秘書広報課
〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号
☎867-0111 ●印刷(株)近代美術



未来を担う若者たちが大集合!

NAHAユースフォーラム

3月7日(土)・8日(日)の2日間、NAHAユースフォーラムが開催され、市内で活動する高校生、大学生、社会人など若者を主体とした団体が一堂に集まりました。

このフォーラムは、若者たちの活動内容のアピールや交流を目的として行われ、映像に字幕を付けて聴覚障がい者に映像の内容がわかるようにサポートする団体「沖縄大学字幕つけ隊」や、戦争体験者との交流を通して記憶を「受け」「継ぐ」「プロジエクト」の虹の会など、様々な活動に取り組み32団体が参加しました。フォーラム初日の7日は、中央公民館を会場に、学生が学校の外で地域活動などに取り組み「僕らのアクトシヨンプログラム」の活動報告や、県内で活躍している大人の方々と意見交換を行いました。

8日は、テンプス館前広場で、フォーラム参加団体の活動をパネルで紹介したり、エイサーやダンスなどの練習成果を披露しました。このフォーラムを主催した、プロジェクト未来なは佐々倉玲於事務局長は「このような活動に取り組んでいる若者がいることが世間にまだ知られていないので、このフォーラムを通して存在をアピールしたい。また、興味がある方が活動に参加するきっかけになっていただければ」と抱負を語りました。

市では、これからもキラキラ輝く若者たちを全力で支えていきます。

主な紙面

- 地球温暖化対策カレンダー絶賛配布中
- 市立学校の校歌を着つたに!
- 更なる協働のまちづくりに向け
- 「なは市民大学開校
- 情報PACK

協働のまちづくり 那覇を紡ぐ

44



「協働」とは、まちづくりのために、市民・事業者・市民団体・行政などが、それぞれの特性を発揮しながら協力しあうことです。

市内には、学校の始業前の朝の会を利用した本の読み聞かせや、教職を退いたみなさんが、教員としての長年の経験を活かし、小学校児童の学習支援を行うなど、様々な形で子どもたちを育む取り組みを行っているボランティア団体があります。

那覇地区長寿学園の卒業生でつくるボランティアグループ「四寿の会」のみなさんも、交流を通して子どもたちの健やかな成長を願って活動するグループの一つです。

四寿の会は、那覇地区長寿学園で学んだ学習成果を地域社会に役立てたいと、平成8年から地域貢献活動に取り組んでいます。

80歳前後のメンバー12〜13名が、市内の小学校や児童館、公民館などで、ペットボトルや空き缶などの廃品や、アダンの葉などを使った手作り玩具教室を開催しています。

特に、児童館、公民館で行われている同教室では、地域の子どものみならず、その子どもたちの父兄も参加し、一緒に遊ぶ玩具作りに取り組む姿も多く見られ、親子のコミュニケーションづくりの一役買っていると、好評を博しています。



久茂地児童館で行われた「手作り玩具教室」の後に子どもたちと記念写真に収まる四寿会のみなさん

子どもたちの健全育成に奮闘中

同会の仲本政光会長は、「地域の子どもたちが、元気に明るく健やかに育ってくれることを、会員全員が願って活動しています。廃品を使った玩具作りを通して、物やりサイクルの大切さを学んでくれていると思います」と話していました。

平和ボランティアも務めていることから、平和学習を通して、沖縄だけでなく県外の子どもたちにも平和の尊さを伝えて行きたいと意欲を見せる仲本会長。

「子どもたちと接することで、子どもたちから力をもらい、私たちが元気になるんですよ」と笑顔で話していました。